



聞こえる人も、
聞こえない人も

“国際手話”で
楽しむ

能狂言
鑑賞会

喜多能楽堂新装開場記念

手話狂言「瓜盗人」/ 手話能「土蜘蛛」

令和7年 3月20日(木・祝) 14:00開演/13:00開場

十四世喜多六平太記念能楽堂 (喜多能楽堂)

- チケット(全席指定) 3,500円
- 前売開始 令和7年 1月17日(金) 10:00~
- チケット取扱い

・喜多能楽堂

電話 03-3491-8813 (※1月20日~) WEB <https://kita-noh.com/> (要事前登録・無料)

・(公財)品川文化振興事業団

窓口 きゅりあん、スクエア荏原、メイプルカルチャーセンター、O美術館

電話 03-5479-4140 (チケットセンター CURIA) WEB <https://shinagawa-culture.or.jp> (無料)

- お問合せ ・喜多能楽堂 TEL. 03-3491-8813 ホームページ <https://kita-noh.com/> 喜多能楽堂 HP QRコード ▶▶
- ・品川区文化観光スポーツ振興部文化観光戦略課 TEL. 03-5742-6836 FAX. 03-5742-6893



社会福祉法人トット基金理事長
“黒柳徹子さん”ご推薦



イタリアのパレルモで、初めて手話狂言を披露したときのことを、今でも昨日のこのように覚えています。二千人ものお客様が「アイ・ラブ・ユー」を手話で作って、一斉に掲げてくれました。あれから四十二年、手話狂言は、日本はもちろんのこと、世界中で公演して多くの人に愛されています。喜多流の皆様が、お能を国際手話で演じられるとのこと、楽しみです。沢山の方が足を運んでくださいますよう。

聞こえる人も聞こえない人も一緒になって能狂言を楽しんでほしい。

そんな思いを込めて喜多能楽堂では「手話で楽しむ能狂言鑑賞会」を開催しています。

長く国内外で高い評価を受けている日本ろう者劇団を迎えて手話狂言を披露していただくとともに、同劇団の協力によって能楽界では他に例のない出演者自身の手話による能の上演に取り組んできました。

特に今回は2025年11月に開催されるデフリンピック東京大会に向けて関心の高まる国際手話を使つての上演です。

演目は手話狂言の代表的レパートリーから「瓜盗人」と喜多流の能「土蜘蛛」。

国際手話という“見る言葉”の力を借りて日本を代表する伝統演劇を世界に向けて発信します。

プログラム

● 解説（手話通訳付き）

本日の公演について手話通訳を交えて解説。

大島輝久（シテ方喜多流） 三宅近成（狂言方和泉流）ほか

● 手話狂言「瓜盗人」

畑の瓜を盗みに入った盗人がぶつかったのは畑主かと思いきや案山子、盗人がこれを壊して逃げた翌日、畑主は案山子になりすまして盗人の来るのを待っていると…。

三宅狂言会の声の出演に合わせて日本ろう者劇団のメンバーが生き生きとした対話としぐさを息の合った手話で演じる狂言です。

（シテ） 江副悟史 （アド） 鈴まみ

（声の出演） 三宅狂言会

● 手話能「土蜘蛛」

病床につく源頼光に薬を届けに来た侍女の胡蝶が去ると、いつのまにか怪しい僧が現れます。古歌を詠じた途端に僧は蜘蛛の糸を投げて襲い掛かりますが、頼光は撃退。駆け付けた独武者が僧の流した血を見つけ、従者とともにその跡を辿り古塚に至ると、土蜘蛛の精が姿を現し糸を繰り出す土蜘蛛と武者たちの激しい戦いが始まります。出演者みずから手話を交えて演じるという前代未聞の一番です。

（前シテ・僧、後シテ・土蜘蛛の精） 大島輝久

（シテ連・頼光） 佐々木多門

（シテ連・太刀持） 塩津圭介

（シテ連・胡蝶） 大島衣恵

（ワキ・独武者） 村瀬慧

（ワキ連・頼光の郎党） 村瀬提 矢野昌平

（アイ・独武者の下人） 三宅右矩

（笛） 藤田貴寛

（小鼓） 田邊恭資

（大鼓） 大倉慶乃助

（太鼓） 梶谷英樹

（地謡） 栗谷明生 長島茂 内田成信 高林呻二

友枝真也 佐藤寛泰 佐藤陽 谷友矩

（後見） 狩野了一 栗谷浩之

・上演台本 大島輝久

・演出 三宅右近

・手話指導 江副悟史 永井弓子

・監修 高林白牛口二

日本ろう者劇団

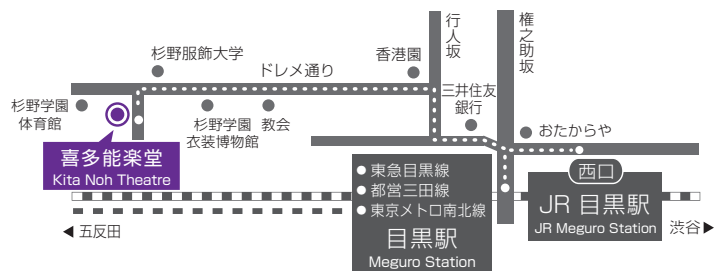
女優の黒柳徹子さんが設立された社会福祉法人トット基金が昭和57年に発足した、ろう者を主体としたプロの劇団。三宅狂言会の指導による手話狂言、劇団独自の創作による視覚演劇、サインマイム、ムーブメントシアターなどの公演を各地で行い、演劇を通してろう者の文化の向上に努めている。中でも手話狂言は新しいジャンルの演劇を創ったことで数々の栄誉に輝いた。欧米各国での公演を通して海外との文化交流にも力を入れ、日本を代表するろう者の劇団としますます活動の場を広げている。 <http://www.totto.or.jp>



デフリンピックと国際手話

2025年11月、ろう者アスリートが参加する国際的なスポーツ競技大会「東京2025デフリンピック（第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025）」が開催されます。この大会の運営に国際会議の通訳などでも活用されている国際手話が使われることから今、国際手話への関心が高まっています。国や地域によって違いのある手話を世界で通用する公用語として作られた国際手話。日本ではまだ使える人が少ないものの既に日本ろう者劇団では2024年7月のフランス公演で国際手話による手話狂言を披露して大きな反響を呼んでいます。今回の国際手話狂言の凱旋と初めて挑戦する国際手話能の上演、世界に向けた手話能楽発信の試みです。

会場：十四世喜多六平太記念能楽堂（喜多能楽堂）



〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。

※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。

喜多能楽堂
ホームページ

